



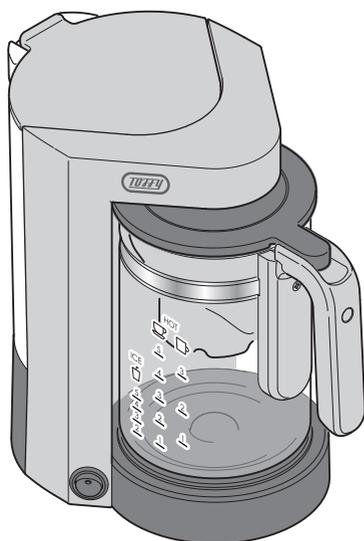
TEA & COFFEE メーカー

品番：K-HCM1

家庭用

もくじ

安全上のご注意.....	2
使用上のご注意.....	6
各部の名称.....	7
水タンクのはずし方、付け方...	9
使い方.....	11
お手入れのしかた.....	20
故障かなと思ったら.....	22
製品仕様.....	24
保証書.....	24



ユーザーズガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。
本書は読み終わったあと、大切に保管してください。

LADONNA

安全上のご注意

●必ずお守りください（安全にお使いいただくために）

本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。



警告

この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意

この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●次の絵文字で、お守りいただきたい内容を説明しています。



してはいけない「禁止」内容です。



必ず実行していただきたい「強制」内容です。

■電源プラグ・電源コードについて



ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。

火災・感電の原因となります。

破損した電源コードの修理をしない。

火災・感電・ショート・発火の原因となります。

電源コードを巻き付けたまま・束ねたまま使用しない。

電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

電源プラグや電源コードが傷んでいるとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・火災の原因となります。



電源プラグや電源コードを水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。

感電・破損の原因となります。



交流 100 V・定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。

感電・ショート・発火の原因となります。

電源プラグにホコリが付着している場合は拭き取る。

ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因となります。

電源プラグや電源コードが破損した場合、直ちに使用を中止する。

すぐにお買い上げの販売店、またはお客様ご相談窓口へ点検・修理をご相談ください。

感電・ショート・火災の原因となります。



警告

⚠️
注意

❌ **電源コードを製品に巻き付けない。**
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードは温度の高くなる部分に近づけたりしない。
電源コードの損傷により、感電・火災の原因となります。

❗ **使用時以外は、電源プラグをコンセントからはずす。**
絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って引き抜く。
感電・ショートの原因となります。

■ 本体・ガラスポットの取り扱いについて

❌ **本体の分解・改造はしない。**
火災・感電・けがの原因となります。

製品のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。
異常動作してけが・感電・故障の原因となります。

本体を水に浸したり、水をかけたりしてぬらさない。
火災・ショート・感電・故障の原因となります。

本製品は室内専用です。屋外では使用しない。
火災・故障の原因となります。

水のかかりやすい場所に置いて使わない。
ショート・感電・故障の原因となります。

安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）には、単独で使用させない。
また、製品で子供が遊ばないように注意する。
感電・けが・やけどの原因となります。

❌ **掃除または使用者による保守を子供が監督なしに行わない。**
けが・やけど・思わぬ事故の原因となります。

幼児の手の届くところで使用・保管しない。
誤使用により思わぬ事故の原因となります。

本体や各部品に衝撃を加えない。
破損してけが・故障・火災・感電の原因となります。

カーテンなどの可燃物の近くで使用しない。
火災の原因となります。

専用のガラスポット・部品以外は使用しない。
発火・故障・やけど・思わぬ事故の原因となります。

使用直後の熱い保温プレートの上にガラスポット以外のものをのせない。
火災・けがの原因となります。

⚠️
警告

安全上のご注意 (続き)



ご使用中に下記のような異常を感じた場合は使用を中止する。

- ・本体が異常に熱い
 - ・焦げくさい
 - ・異常な動作をする
- 発火・けがの原因となります。



本製品は一般家庭用です。
業務用として使用しない。
火災や故障の原因となります。

使用中や使用後しばらくは、
高温部には触れない。
やけどの原因となります。

使用中は本体を移動させない。
やけど・火災・故障の原因となります。

不安定な場所や熱・水気・振
動に弱いところで使用しない。
けがや火災の原因となります。

温度の高いところや火気のある
ところ、直射日光が当たる
ところでは使用・保管しない。
故障・変形の原因となります。

使用中は製品から離れない。
発火・火災の原因となります。

破損や変形があるときは絶対
に使用しない。
感電・けが・故障の原因となります。

熱源・火気の近くで使用しない。
火災・変形・故障の原因となります。

壁や家具の近くで使用しない。
熱で壁や家具が変形・変色したり、火
災の原因となります。

キャビネット内に置いて使用し
ない。
蒸気や熱でキャビネットが変形・変色
したり、けが・やけど・火災・故障の
原因となります。



お手入れをするときは、研磨
剤を含む洗剤やシンナー、ベン
ジン、アルコール、磨き粉、
金属タワシなどは絶対に使用
しない。
傷がついたり、変色・変形・故障の原
因となります。

本体の上や下に燃えやすいも
のを置いたり敷いたりしない。
火災の原因となります。

決められた容量より多いコー
ヒー粉 (40g)・水 (650mL)
を入れない。
湯がこぼれたり、コーヒーがあふれ出
して、やけどや故障の原因となります。

細挽き粉を使用しない。
コーヒーがあふれ出して、やけどや故
障の原因となります。

水タンクに水を入れたまま放
置しない。
故障・変色・におい・腐敗の原因とな
ります。

水タンクに水以外のものを入
れない。
故障の原因となります。

水タンクが空のまま電源を入
れない。
火災・故障の原因となります。



注意

 水タンクに水を入れて取り付けたあとは、本体からはずしたり、動かしたりしない。

水漏れ・やけど・故障の原因となります。

水タンクを本体から取りはずすときは、本体を押さえる。

本体が持ち上がり、落下の原因となります。

使用中、ガラスポットをはずしたり、水タンクふたを開け、水を追加したりしない。

故障・やけどの原因となります。

ガラスポットを直接火にかけたり、電子レンジで加熱したり、硬いものにぶつかけたり、急激に冷やしたり、他の機器で使用したりしない。

割れて、火災・けがの原因となります。

ガラスポットをのせたまま、本体を動かさない。

破損・やけど・けがの原因となります。

専用のガラスポットなしで使用しない。

けが・やけど・水漏れ・故障の原因となります。

本体以外の水洗いできる部分は、熱湯をかけたり、食器洗浄機・食器乾燥機など使用しない。

変色・変形・劣化や破損などの原因となります。耐熱温度は各容器・各部品によって異なりますが60°C以上のお湯でお手入れすることはやめてください。

 本来の使用方法以外の目的・用途に使用しない。

ユーザーズガイドの内容以外に使用したり、誤った方法で使用したときは、けが・故障の原因となります。

電源コードが通行や動作の妨げになるような場所で使用しない。

電源コードが引っ掛かり、製品が落下して、けがや故障の原因となります。

 持ち運びやお手入れは、電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めてから行う。

火災・やけどの原因となります。

使用後は十分にお手入れして乾燥させる。

使用後そのままにしておくと、カビやサビなどの原因となります。

連続使用する場合は5分以上休ませてから再度使用する。

故障・やけどの原因となります。

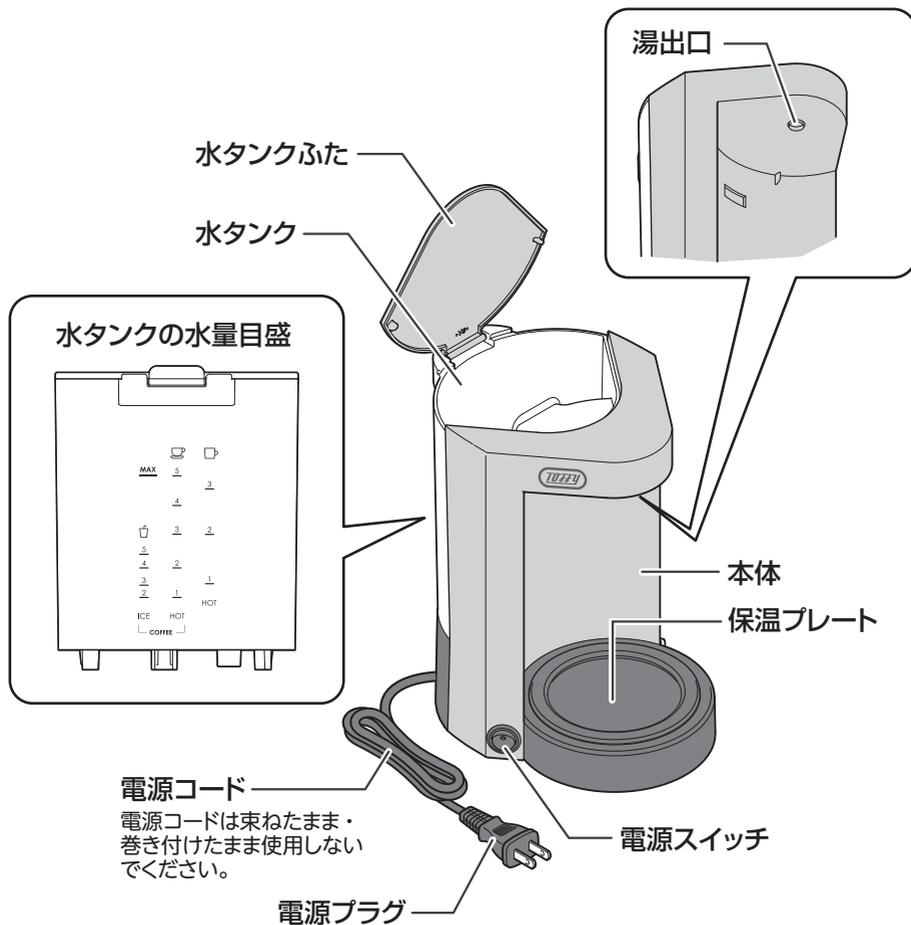
抽出中や抽出直後は、ガラスポットに手や顔を近づけない。また、ガラスポットを持つときは、必ず取っ手を持ち、ガラス部分には触らないように注意する。

やけどの原因となります。

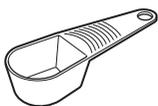
使用上のご注意

- **本製品は一般家庭用です。業務用として使用しないでください。**
火災や故障の原因となります。
- **壁や家具の近くで使用しないでください。**
熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因となります。
- **不安定な場所や熱・水気・振動に弱いところで使用しないでください。**
けがや火災の原因となります。
- **はじめてご使用になるときは、水タンク・メッシュフィルター・コーヒーバスケット・ティー
ストレーナー・ガラスポット・ガラスポットふた・計量スプーンを水洗いしてください。お
手入れするときは、熱湯をかけたり、食器洗浄機・食器乾燥機など使用しないでください。**
変色・変形・劣化や破損などの原因となります。耐熱温度は各容器・各部品によって異なりますが
60℃以上のお湯でお手入れしないでください。
- **はじめてご使用になるとき、または長時間使用していなかったときは、コーヒー粉を入
れずに、水だけで1、2回抽出し、内部の洗浄をしてください。**
- **水タンクに水以外のものを入れないでください。**
故障の原因となります。
- **使用中、ガラスポットをはずしたり、水タンクふたを開け、水を追加したりしないでください。**
故障・やけどの原因となります。
- **お手入れするときは、研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、
金属タワシなどを使用しないでください。**
傷がついたり、変色したりする原因となります。
- **ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、お手入れをこまめにしてください。**
本体内部にカルシウム分が付着しやすくなったり、付着したカルシウム分がはがれて本体内部のお湯や
蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因となります。
- **連続使用する場合は5分以上休ませてから再度ご使用ください。**
故障・やけどの原因となります。
- **ガラスポットのコーヒーやお茶がコーヒーカップ1杯分未満の場合は保温しないでください。**
コーヒーやお茶が蒸発して空焚きとなり、故障の原因となります。
- **使用後は十分にお手入れして乾燥させてください。**
使用後そのままにしておくと、カビやサビなどの原因となります。
- **使いはじめのうちは、本体のプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチッ
ク特有のにおいがすることがあります。お使いになるうちに少なくなります。気になる
場合は2～3回水だけで抽出してからご使用ください。それでも気になる場合は、
定期洗浄を行ってください。(21ページ参照)**

各部の名称

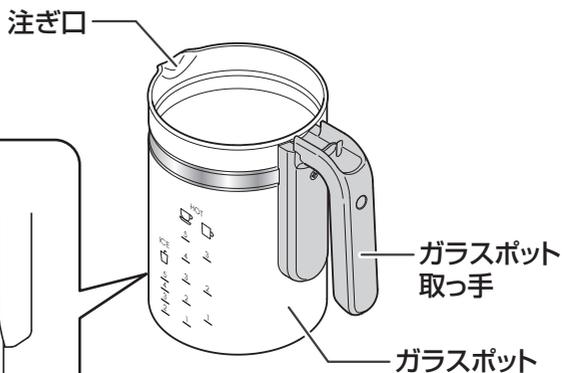
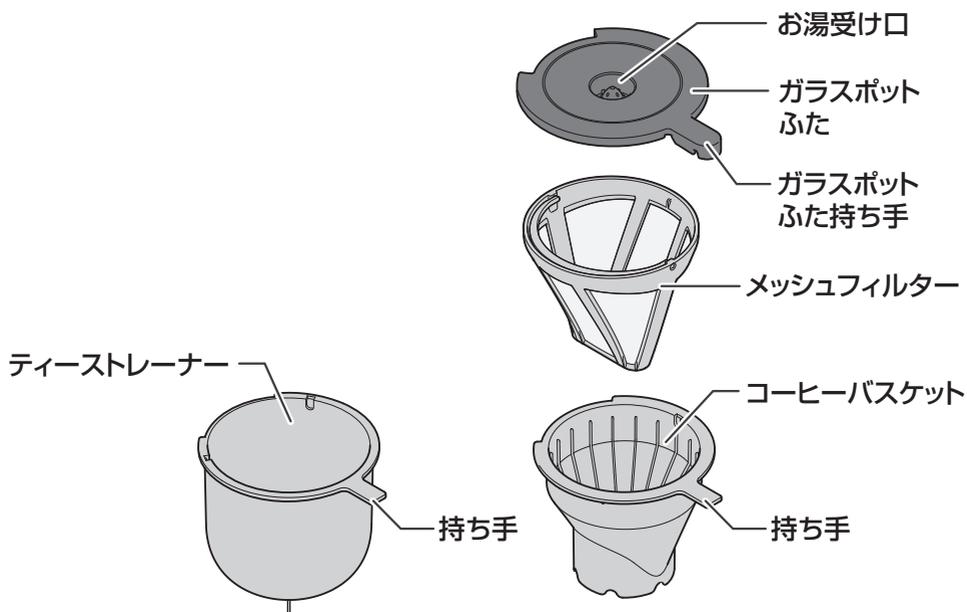


付属品



計量スプーン
(すり切り 1 杯: 約 5g)

各部の名称 (続き)



ガラスポットの目盛

HOT	
	5
	4
	3
	2
	1

目盛はできあがり量の目安です。
 アイスコーヒー 2杯 約 120mL
 コーヒーカップ 1杯 約 120mL
 マグカップ 1杯 約 180mL

メッシュフィルター代用のペーパーフィルター (市販品)

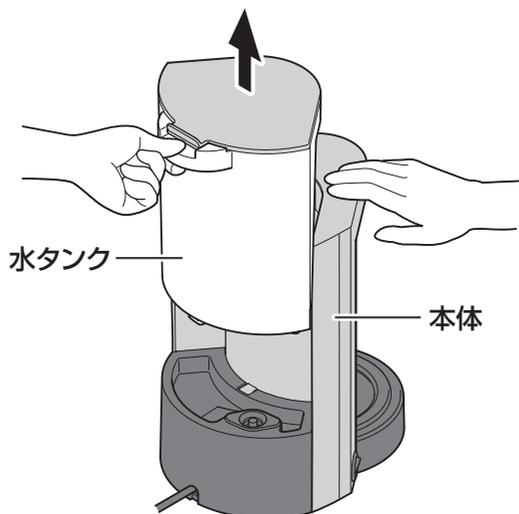
「2～4杯用」のものをご使用ください。
 サイズ: (1×2) または (102)



水タンクのはずし方、付け方

はずし方

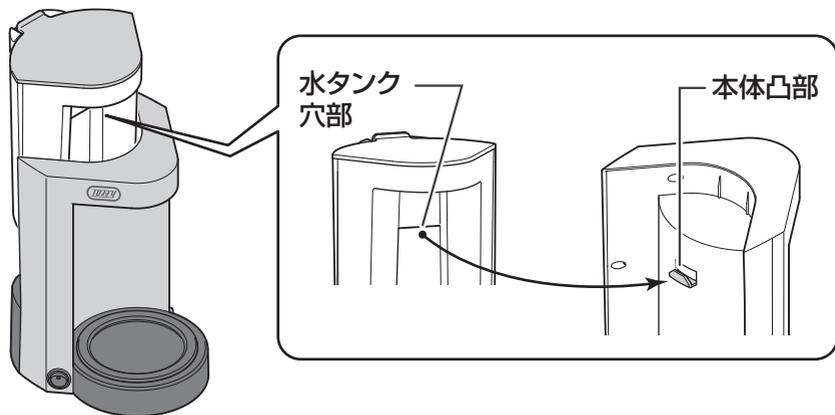
- 1 本体を押さえて水タンクを持ち上げる。



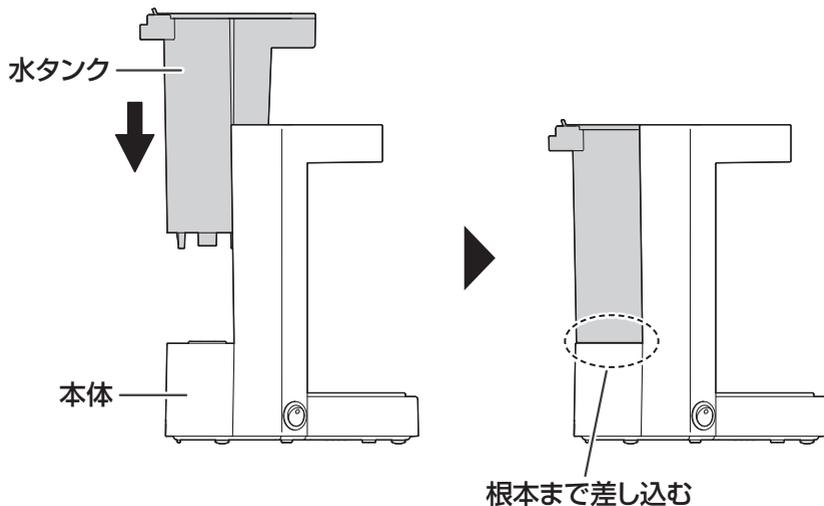
水タンクのはずし方、付け方 (続き)

付け方

- 1 水タンク穴部を本体凸部に確実に合わせる。



- 2 水タンクを本体に沿ってまっすぐ根本まで差し込む。



注意

水タンクは根本までしっかり差し込んでください。
故障・お湯が出ない原因となります。

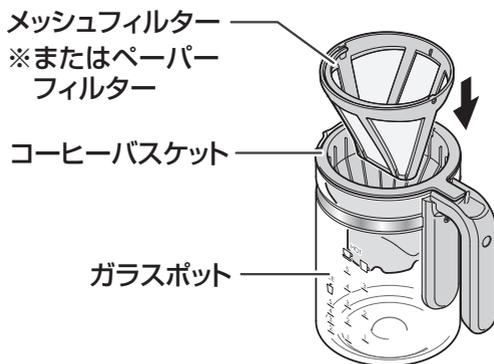
使い方

ホットコーヒー、お茶の作り方

1 コーヒー粉または茶葉を入れる。

コーヒーを作る場合

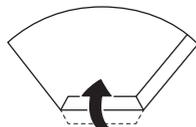
- ① ガラスポットにコーヒーバスケットとメッシュフィルターまたはペーパーフィルターをセットします。



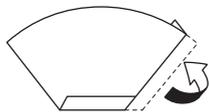
ペーパーフィルターの折り方

2～4杯用のサイズのペーパーフィルターを使用できます。
サイズ：(1×2) または (102)

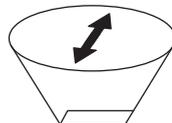
①底のシール部分を
折り曲げる



②側面のシール部分を
底と逆側に折り曲げる



③内側を広げる



使い方 (続き)

- ② 計量スプーンでコーヒー粉をメッシュフィルターまたはペーパーフィルターの中に入れます。

付属の計量スプーンは、すりきり1杯が約5gです。粉は少しゆすって平らにしてください。

コーヒー粉の量の目安

コーヒーカップ	マグカップ	コーヒー粉の量 計量スプーン (すりきり)
1		1～2杯
2	1	2～4杯
3	2	4～6杯
4	3	5～7杯
5		7～8杯

※上記のコーヒー粉の量は目安です。お好みにより調節してください。

※計量スプーン8杯(40g)を超える量を入れないでください。



お願い

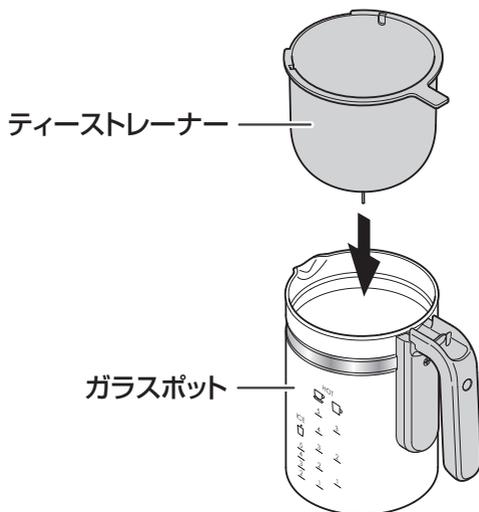
- コーヒー粉は、中挽き粉を使用してください。
- 細挽き粉を使用する場合は、ペーパーフィルターを使用してください。メッシュフィルターが目詰まりし、コーヒーがあふれ出ることがあります。

⚠️ 注意

- コーヒー粉は、必要な量以上入れないでください。コーヒーがこぼれて、やけどの原因となります。
- コーヒーバスケットに直接コーヒー粉を入れないでください。必ず付属のメッシュフィルターもしくは市販のペーパーフィルターをコーヒーバスケットに取り付けて使用してください。お湯がこぼれたり、コーヒーがあふれ出たりして、やけどや故障の原因となります。
- ペーパーフィルターを2枚以上重ねて使用しないでください。
- ペーパーフィルターを正しく取り付けないと、コーヒー粉がペーパーフィルターからあふれ出ることがあります。

お茶を作る場合

- ① ガラスポットにティーストレーナーをセットします。



- ② お好みの茶葉をティーストレーナーに入れます。



注意

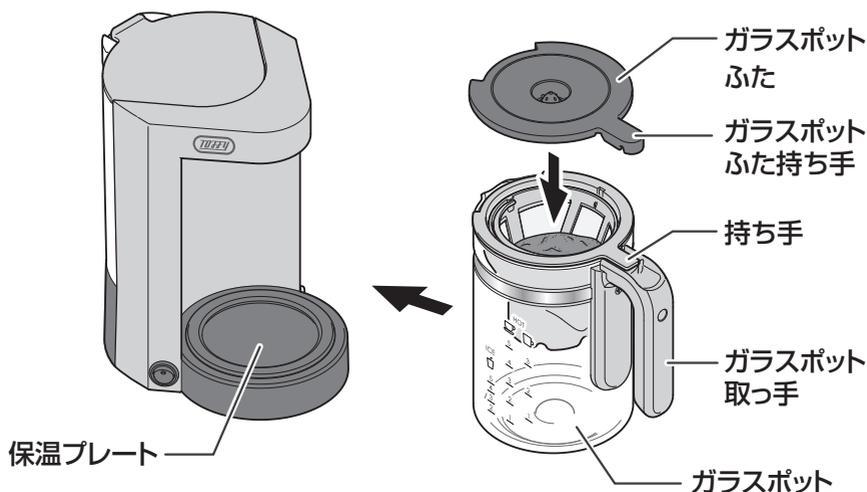
茶葉は入れすぎないようにご注意ください。

茶葉の種類によっては大きく膨らみ、茶葉があふれることがあります。



使い方 (続き)

- 2 ガラスポットふたを取り付けて、ガラスポットを保温プレートの上に乗せる。

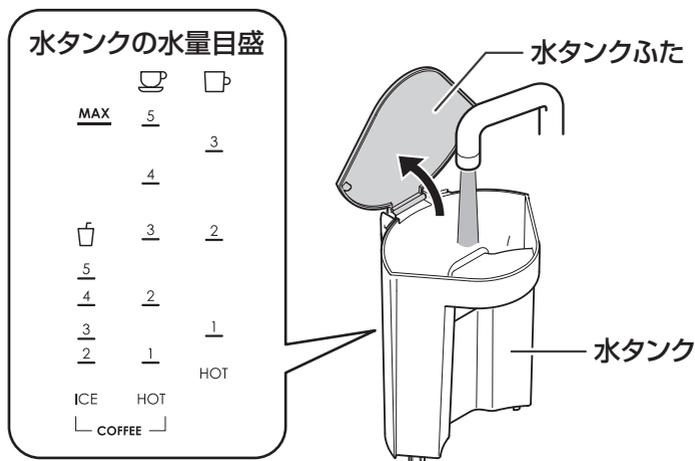


⚠ 注意

- コーヒーまたはお茶を淹れるとき、必ずガラスポットふたを取り付けてください。
コーヒーまたはお茶の飛び散りにより周囲の汚損・やけどの原因となります。
- ガラスポットふた、コーヒーバスケットまたはティーストレーナーの持ち手は、必ずガラスポット取っ手同様手前方向にセットしてください。
お湯がこぼれたり、コーヒーがあふれ出たりして、やけどや故障の原因となります。
- ガラスポットは保温プレートにこすれないようにのせてください。

③ 水タンクに水を入れる。

- ① 水タンクを本体からはずします。(9 ページ参照)
- ② 水タンクの水量目盛に合わせて水を入れます。



⚠ 注意

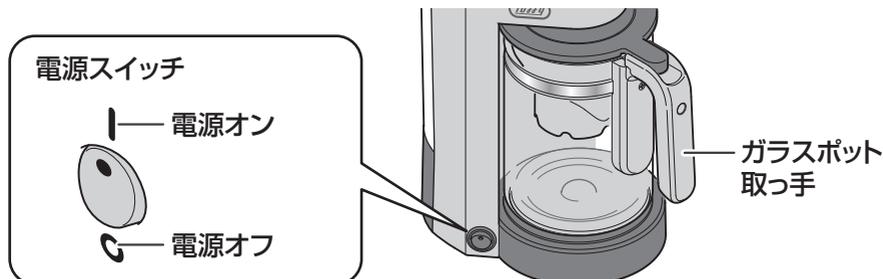
- 水タンクの水量目盛「MAX」以上に水を入れないでください。
お湯があふれ、やけどの原因となります。
- 水タンクに水以外のものを入れないでください。
故障の原因となります。
- 水タンクにお湯を入れないでください。
故障の原因となります。
- 水タンクを本体に取り付けた状態で、水を入れないでください。
故障の原因となります。

- ③ しっかり本体に押し込み、取り付けます。(10 ページ参照)

使い方 (続き)

4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチの「**I**」側を押す。

- 電源スイッチが点灯し、しばらくするとコーヒーまたはお茶の抽出が始まります。
- 抽出開始から約 30 秒後、蒸らしモードに切り替わります。蒸らしの際（約 30 秒）は電源スイッチが消灯します。蒸らしモードが終了すると、電源スイッチが再度点灯します。



警告

抽出中・抽出直後は蒸気が発生するため、本体上部や高温部に手や顔を近づけないでください。
やけどの原因となります。

5 抽出が終了したらガラスポットを取り出し、ガラスポットふた、コーヒーバスケットまたはティーストレーナーを取りはずし、カップに注ぐ。

ガラスポットの目盛は目安です。コーヒー粉の挽き具合や量、茶葉の種類や量などによって、できあがり量は異なります。



注意

- ガラスポットを持つときは、必ず取っ手を持ち、ガラス部分には触らないように注意してください。
やけどの原因となります。
- ガラスポットからは蒸気が出ますので、注意してください。
やけどの原因となります。

ポイント

抽出後は、しばらく待ち、コーヒーやお茶が落ちきってからガラスポットを取り出してください。

コーヒー粉の挽き具合や量、茶葉の種類や量によってコーヒーバスケットまたはティーストレーナー内にお湯が残ることがあります。

保温について

- ① 抽出が終了後、保温モードに切り替わります。
保温モードになった後約 30 分後に電源が自動で切れます。
長時間保温するとコーヒーやお茶の風味が損なわれます。抽出後なるべく 30 分以内にお飲みください。



注意

残ったコーヒーやお茶を保温プレート上に長時間放置しないでください。

コーヒーやお茶が蒸発して煮詰まっていき、空焚きになると、火災・故障の原因となります。空焚きしないよう注意してください。

お願い

ガラスポットのコーヒーやお茶がホットコーヒー 1 杯分未満の場合は保温しないでください。

コーヒーやお茶が蒸発して空焚きとなり、思わぬ事故の原因となります。

- 6** 保温しない場合は、電源スイッチを「○」側にして電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

続けてコーヒーやお茶を作る場合

本体が冷めるまで 5 分以上待ってから、再度 **1**~**5** の手順で抽出してください。

抽出を途中で中止する場合

電源スイッチを「○」側にし、電源を切ってください。
水タンクに残った水は、水タンクを本体からはずし、捨ててください。

使い方 (続き)

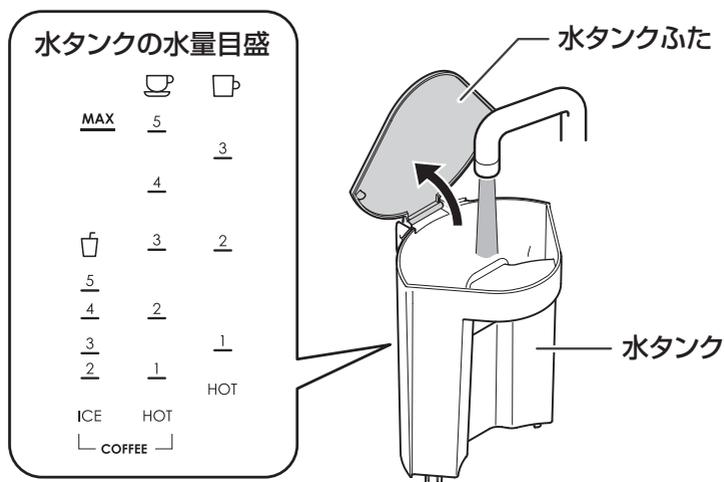
アイスコーヒーの作り方

1 「ホットコーヒー、お茶の作り方」の **1**～**5** と同じ手順でコーヒーを作る。

● 水量は水タンクの「ICE」の目盛に合わせます。

お願い ICE「2」杯以上の水を入れてください。

空焚きすると故障の原因となります。



コーヒー粉の量の目安

ICE	コーヒー粉の量 計量スプーン(すりきり)
2	3～6杯
3	4～7杯
4	5～8杯

※上記のコーヒー粉の量は目安です。お好みにより調節してください。

※計量スプーン8杯(40g)を超える量を入れないでください。

2 氷を入れたグラスにコーヒーを注ぐ。

⚠ 注意

- ガラスポットを持つときは、必ず取っ手を持ち、ガラス部分には触らないように注意してください。
やけどの原因となります。
- ガラスポットからは蒸気が出ますので、注意してください。
やけどの原因となります。
- 必ずガラスポットふたとコーヒーバスケットを取りはずしてください。
やけどの原因となります。

ポイント

抽出後は、30～60秒ほど待ち、コーヒーが落ちきってからガラスポットを取り出してください。

コーヒー粉の挽き具合や量によってコーヒーバスケット内にお湯が残ることがあります。

3 電源スイッチを「○」側にして電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

お手入れのしかた

⚠ 注意

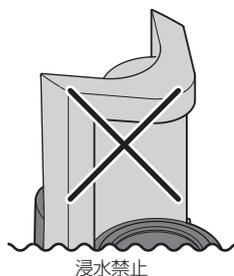
- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・ショート・やけど・火災の原因となります。
- お手入れは本体や各部品が冷めてから行ってください。やけどの原因となります。
- 製品のお手入れに、食器用洗剤以外の洗剤や研磨剤を含む洗剤、シンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどは使用しないでください。傷がついたり、変色したりする原因となります。
- 食器洗浄機、食器乾燥機などを使わないでください。変形・破損の原因となります。

通常のお手入れ

本体

乾いたやわらかい布で拭きます。汚れが落ちない場合は中性洗剤を含ませた布などで拭き取り、乾いた布でから拭きしてください。

- 直接水をかけたり、水に沈めたりしないでください。故障・やけど・火災の原因となります。



保温プレートの上に異物がないことを確認してください。

- 異物があった場合は取り除きます。
- 汚れたときは湿らせた布で拭きます。

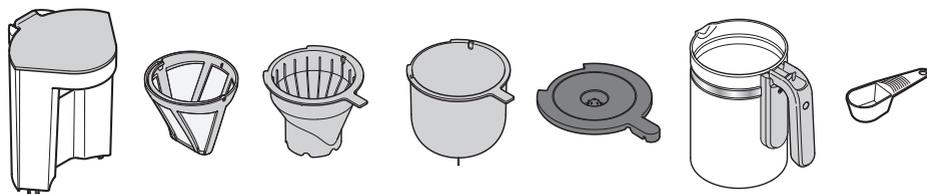
保温プレートがぬれた状態で使用しないでください。故障の原因となります。

水タンク、メッシュフィルター、コーヒーバスケット、ティーストレーナー、ガラスポットふた、ガラスポット、計量スプーン

柔らかなスポンジに、台所用洗剤をうすめた水を含ませて洗ってください。
汚れたまま使用していると、その汚れが取れなくなることがあります。

- 洗浄後は、流水で洗剤を流した後、乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 水洗いする際は、熱湯をかけたり、食器洗浄機・食器乾燥機など使用しないでください。

変色・変形・劣化や破損などの原因となります。耐熱温度は各容器・各部品によって異なりますが、60℃以上のお湯でお手入れしないでください。



本体の定期洗浄（石灰の除去）

半年に1回程度、定期的に行ってください。

- 使用しているうちに、水に含まれる石灰成分が本体内部に付着します。そのまま放置すると故障の原因となるため、定期的に石灰の除去を行ってください。
- ① 水タンクの水量目盛「MAX」(650mL)まで水を入れ、食酢大さじ一杯を加えてよく混ぜ、水タンクを本体に差し込んでください。(P.10、15 参照)
 - ② ガラスポットを保温プレートの上にのせてください。
 - ③ 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチの「**I**」側を押してください。
 - ④ 抽出が終わったらガラスポットのお湯を捨て、水タンクやガラスポットをよくすすいでください。
 - ⑤ 5分以上たってから、食酢のにおいが消えるまで、水だけで2回以上抽出をくり返してください。
 - ⑥ 電源スイッチを「**O**」側にして電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

故障かなと思ったら

故障かなと思ったらときは、修理の依頼をされる前に、下記のことをお調べください。

こんなとき	原因	対処方法
抽出（ドリップ）ができない コーヒーやお茶ができない	電源プラグが正しくコンセントに差し込まれていない。	電源プラグとコンセントの接続を確認してください。
	水タンクに水が入っていない。	水タンクに水を入れてください。 → 15 ページ
	コーヒー粉をメッシュフィルターまたは市販のペーパーフィルターに入れていない。	コーヒー粉を入れてください。 → 11 ページ、12 ページ
	茶葉をティーストレーナーに入れていない。	茶葉をティーストレーナーに入れて入れてください。→ 13 ページ
コーヒーやお茶があふれる	コーヒー粉や水を入れ過ぎている。	適切な量を入れてください。 → 12 ページ
	茶葉を入れすぎている。	適切な量を入れてください。
	適切なコーヒー粉を使用していない。	中挽きのコーヒー粉を使用してください。
	コーヒーバスケットに直接コーヒー粉を入れている。	付属のメッシュフィルターまたは市販のペーパーフィルターをコーヒーバスケットにセットし、コーヒー粉をフィルターに入れてください。 → 11 ページ、12 ページ
抽出に時間がかかる	メッシュフィルターやティーストレーナーが目詰まりしている。	メッシュフィルターやティーストレーナーをお手入れしてください。 → 21 ページ
	本体内部にカルキ成分等が付着している。	定期的に石灰成分等の除去をしてください。→ 21 ページ

長期間ご使用のTEA&COFFEEメーカーは定期的な点検をお願いします

- 電源コードが異常に熱い。
- 電源コードに深い傷などがある。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- そのほか異常や故障がある



このような症状が出た、発見したときには、すぐに使用を中止してください。

お客様ご相談窓口 0570-024-389

※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00~18:00(土・日・祝日を除く)

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

個人情報のお取り扱いについて

株式会社ラドンナおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には品名・品番をご連絡ください。

製品仕様

品名	Toffy TEA & COFFEE メーカー
品番	K-HCM1
本体寸法	約 270(W) × 260(H) × 160(D)mm
重量	約 1,500g (付属品含まず)
電源	AC100V 50-60Hz
定格消費電力	650W
水タンク容量	650mL
抽出方式	ドリップ式
電源コード長	約 1.0m
生産国	中国
付属品	ティーstreiner、コーヒーバスケット、メッシュフィルター、計量スプーン ユーザーズガイド (保証書含む)

※ 商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。

※ この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。

(This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

※ 「Toffy」は(株)ラドンナ、(株)キングジムの登録商標です。